

DX診断プログラムの操作方法

1. DX診断プログラム 案内ページ

DX診断プログラムのご案内

DX診断プログラムの操作方法について

本ページでは、DX診断プログラムのご案内をさせていただきます。
操作方法をご覧になりたい場合は、下のボタンをクリックしてください。

①

操作方法はこちら



DX診断プログラムは
こちら

②

① 「操作方法はこちら」をクリックすると、DX診断プログラムの操作方法をご覧いただけます。

② DX診断プログラムをご利用いただく場合は、「DX診断プログラムはこちら」をクリックしてください。

2. DX診断プログラム トップページ (1)

DX診断プログラム

① 新規 一時保存箇所から再開

事業者区分	<input type="text" value="事業者区分を選択してください"/>
売上規模	<input type="text" value="年間の売上規模を選択してください"/>
従業員数規模	<input type="text" value="従業員数規模を選択してください"/>
会社名	<input type="text"/>
所属	<input type="text"/>
お名前	<input type="text"/>
メールアドレス	<input type="text"/>

① トップページでは、新規でDX診断プログラムを利用する場合、まず「新規」にチェックが入っていることを確認する。

② 新規でDX診断プログラムを利用する場合、赤字部の項目をすべて登録していただく。

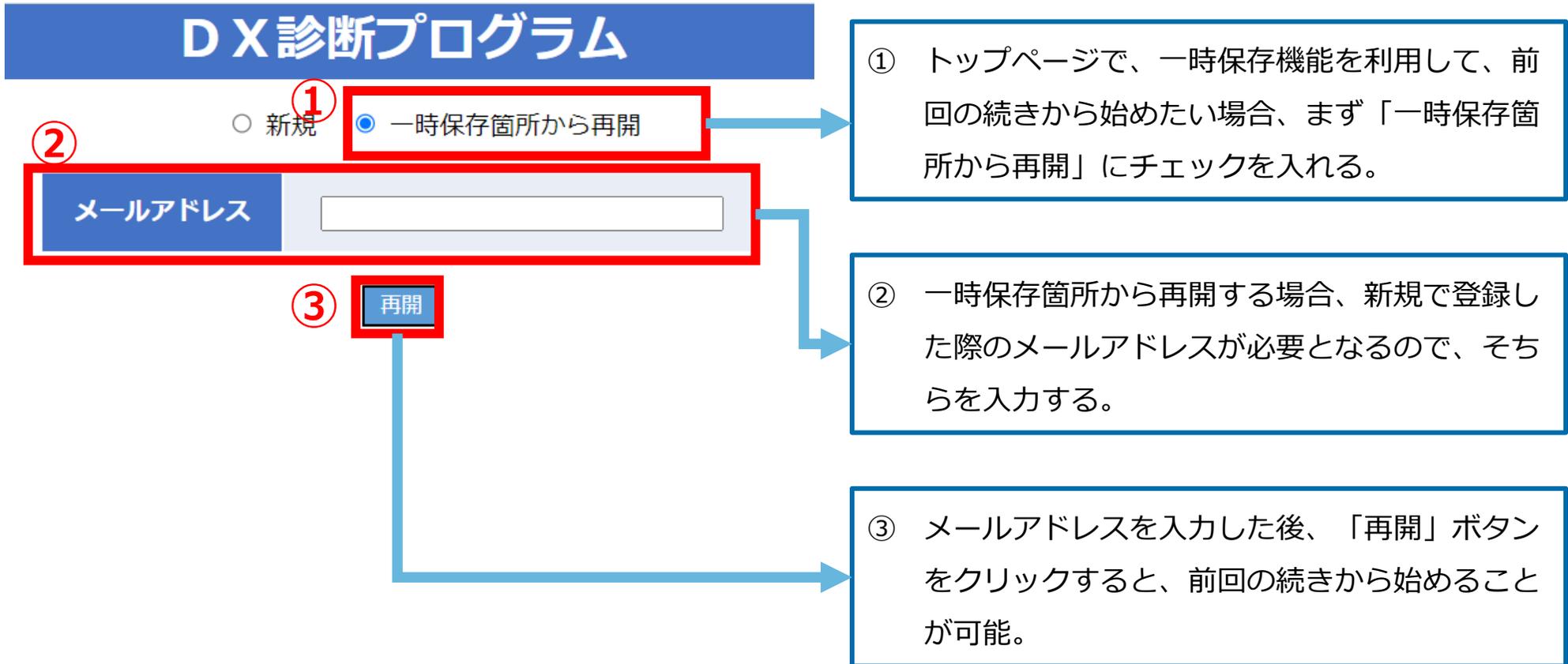
③ すべての項目を入力した後、「次へ」ボタンをクリックすると、DX推進指標に関する質問ページへ移動する。

②

③

次へ

2. DX診断プログラム トップページ (2)



3. DX診断プログラム DX推進指標に係る質問ページ（1）

DX診断プログラム

一時保存

②

1. ビジョン・コミットメント

①

データとデジタル技術を使って、変化に迅速に対応しつつ、顧客視点でどのような価値を創出するのか、社内外でビジョンを共有できているか。

- レベル1：ビジョンが提示されていない。
- レベル2：ビジョンは提示されているが、現場の取組はビジョンに紐づいて行われているとは言えない。
- レベル3：ビジョンが明確に提示され、一部の部門での取組がビジョンに整合的に進められている。
- レベル4：ビジョンが明確に提示され、全社での取組がビジョンに整合的に進められている。
- レベル5：ビジョンが明確に提示され、全社での取組が、ビジョンの達成度合いで評価するモニタリングの仕組みにより、持続的に進められている。

① DX推進指標に係る質問ページでは、赤枠部のように、1つの質問に対して、5つの選択肢を用意しており、すべての質問は必須回答となっている。

② 現在の回答を保存したい（一時保存機能を利用する）場合は、「一時保存」をクリックすることで現在の回答を保存できる。

3. DX診断プログラム DX推進指標に係る質問ページ（2）

DX診断プログラム

一時保存

- レベル2：事業部門はオーナーシップを持っているが、事業企画・業務企画を作成できない。
- レベル3：一部の事業部門では、オーナーシップを持ち、事業企画・業務企画を作成、完成責任まで負えている。
- レベル4：全社的に、事業部門が、オーナーシップを持って、事業企画・業務企画を作成、完成責任を負えている。
- レベル5：全社的に、事業部門が事業企画・業務企画を策定し、IT部門と協力しながらシステム開発にも携わっている。

ITシステムができたかどうかではなく、ビジネスがうまくいったかどうかで評価する仕組みとなっているか。

- レベル1：仕組みができていない。
- レベル2：一部の部門で仕組みが明確化・実践されているが、全社的な仕組みとなっていない。
- レベル3：全社的に仕組みが明確化され、一部の部門で実施されている。
- レベル4：全社的に仕組みが明確化され、実践されている。
- レベル5：仕組みが明確化され、全社で持続的なものとして定着している。

①

次へ

- ① DX推進指標に係る質問ページで、すべての質問に対して、回答が完了した場合、「次へ」ボタンをクリックして、GX推進指標に関する質問ページへ移動する。

4. DX診断プログラム GX推進指標に係る質問ページ（1）

②

DX診断プログラム

一時保存

1. リスク管理戦略

①

TCFD提言等を参考に複数の想定シナリオについて気候関連リスクの評価を行っているか。

- レベル1：行っていない。
- レベル2：一部の部門で評価されているが、全社的な仕組みとなっていない。
- レベル3：全社的に仕組みが確立され、一部の部門で評価されている。
- レベル4：仕組みが明確化され、全社的に評価されている。
- レベル5：仕組みが明確化され、全社で持続的なものとして定着している。

① GX推進指標に係る質問ページも、赤枠部のように、1つの質問に対して、5つの選択肢を用意しており、すべての質問は必須回答となっている。

② 現在の回答を保存したい（一時保存機能を利用する）場合は、「一時保存」をクリックすることで現在の回答を保存できる。

4. DX診断プログラム GX推進指標に係る質問ページ（2）

DX診断プログラム

一時保存

- レベル1：開示していない。
- レベル2：一部しか開示されていない。（例. 戦略、目標は開示しているが、取組、実績等が開示されていない）
- レベル3：情報開示し、得たフィードバックを一部の部門で実践している。
- レベル4：情報開示し、得たフィードバックを全社的に実践している。
- レベル5：仕組みが明確化され、全社で持続的なものとして定着している。

投資家、顧客、消費者等から具体的に重要なステークホルダーを特定し、GHG削減対策に関するコミュニケーションが行われているか。

- レベル1：行われていない。
- レベル2：一部しかコミュニケーションが行われていない。（例. 投資家、顧客とはコミュニケーションを取れているが、消費者等とは取れていない）
- レベル3：コミュニケーションを行い、得たフィードバックを一部の部門で実践している。
- レベル4：コミュニケーションを行い、得たフィードバックを一全社で実践している。
- レベル5：仕組みが明確化され、全社で持続的なものとして定着している。

①

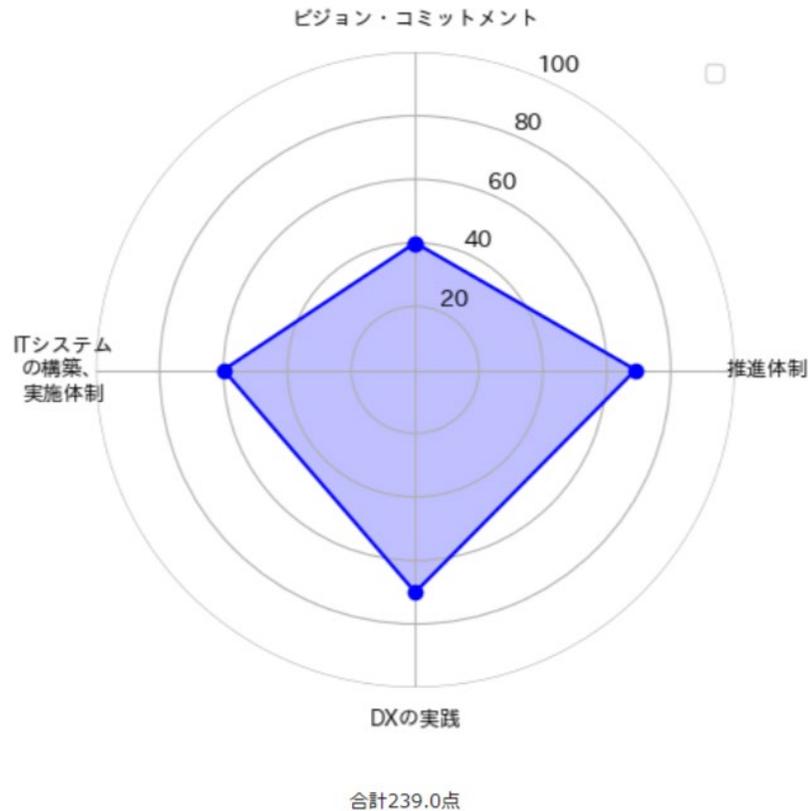


- ① GX推進指標に係る質問ページで、すべての質問に対して、回答が完了した場合、「診断」ボタンをクリックして、診断結果ページへ移動する。

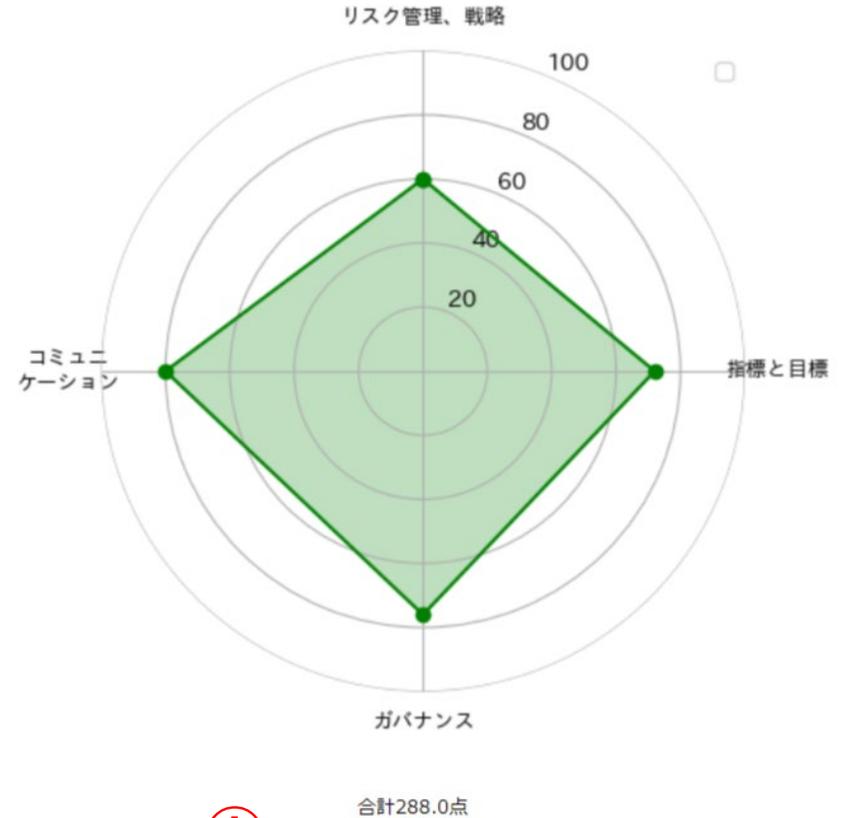
5. DX診断プログラム 診断結果ページ

診断結果ページでは、下記のようにDX達成度とGX達成度が表示される。

DX達成度



GX達成度



① 「診断結果をダウンロード」ボタンをクリックすると、診断結果をエクセルにてダウンロードすることもできる。

①

診断結果をダウンロード